《板書例》

■昭王のものの見方・考え方を、本文に即してまとめてみよう。（学習のポイント1）

▼話し合うポイント▲

①昭王は燕をどのような立場・視点からものを見ていたか。

②昭王は燕の現状改革のために必要な政策は何だと考えていたか。

全段落

《①昭王の立場・視点とは？》

・立場→**燕の君主**

・視点→**君主という視点**から自国（燕）の政治状況を把握

《②昭王の考える現状改革のために必要な政策とは？》

《㊟昭王は燕に対してどのような**現状認識**であったか？》

・燕が**弱小国**であることを君主の視点で理解―「燕**小**」

・燕が**乱れている**ことを君主の視点で理解―「孤之国**乱**」

・他国からの侵略を受けていることを君主の視点で理解―「斉因二孤之国乱一、而襲破レ燕。」

《㊟昭王の願いとは？》

・昭王が望んでいること―「**雪二先王之恥一**、孤之**願**也。」

《㊟昭王のいう燕の**現状改革**のための策とは？》

・**富国強兵策**……経済発展を図り、軍事力を強化する政策。

《㊟富国強兵策を実施するのために必要なことは何か？》

・**有能な人材の登用**――「以招二**賢者**一」

「得二**賢士**一与共レ国」

「今王必欲レ致レ**士**」

《㊟どのような人材招致策を実行したか？》

・郭隗の助言を取り入れる。

―「於レ是、昭王**為レ隗改二築宮一、師二事之一**。」

**まとめ**

昭王は**君主の立場・視点**から、燕を強国にするためには**富国強兵策**が重要だという認識のもと、その政策実行の手助けをする**「有能な人材」を登用したい**と考えた。